

新たな「北海道マリンビジョン」について

北海道開発局 農業水産部 水産課

1. はじめに

北海道マリンビジョンは、北海道が有する我が国の水産食料基地としての役割を将来にわたり守り育てていくため、地域の資源を活かしつつ、多様な主体の連携・協働により活力ある北海道水産業や漁村の目指すべき姿を定めた長期構想です。

前回のマリンビジョン策定から10年が経過し、北海道の水産業を取り巻く情勢は大きく変化しています。

こうした情勢変化に対応するため、有識者による「北海道マリンビジョン21構想検討委員会」を設置して3回にわたり議論を行うとともに、地域マリンビジョン関係者へのヒアリング、一般の方々からの意見募集を経て令和5年6月に新たな「北海道マリンビジョン」を策定しました。

2. 北海道水産業を取り巻く情勢の変化と課題

北海道水産業を取り巻く情勢変化としては、漁業資源の減少や、磯焼けなどによる漁場環境の悪化、水産流通適正化法の施行や食品衛生法の改正に伴うHACCP手法による水産物の品質・衛生管理の義務化、農林水産物・食品の輸出目標の設定、国際的な目標であるSDGs(持続可能な開発目標)の採択、気候変動に伴う地球温暖化と災害リスクの増大などが挙げられます。

また、令和2年12月に漁業法が改正されたほか、令和4年3月には水産基本計画、漁港漁場整備長期計画の策定が行われるなど、各種水産施策の見直しが行われてきました。

北海道水産業の課題としては、水産資源の適切な管理と海域利用秩序の確立、養殖生産体制の構築、豊かな生態系を目指した水産環境の保全・創出、循環型社会への対応とグリーン化の推進、水産業のデジタル化やスマート化、水産物輸出の拡大、増大する災害リスクへの対応力強化のほか、漁港漁場整備長期計画の重点課題として掲げられる「海業振興」による漁村地域の活性化や漁村地域を支える人材の育成などが挙げられます。

3. 新たな「北海道マリンビジョン」の目指す姿

新たな「北海道マリンビジョン」では、大目標として「北海道水産業の成長産業化」を掲げ、引き続き水

北海道マリンビジョンの目指す姿

北海道水産業の成長産業化

水産物の安定供給

水産物の安定供給 基盤・体制の確保

- 持続的漁業生産体制の確立
- 養殖生産拠点の形成
- 水産流通の適正化
- スマート水産業の推進
- 高度な品質・衛生管理体制と多様な流通体制の構築
- 水産物輸出の更なる推進

環境・生態系保全と グリーン社会の構築

- 沿岸海域の環境・生態系保全活動の広がり
- 漁港・漁村地域におけるカーボンニュートラルの推進
- 水産系廃棄物等のリサイクルの推進

水産業の健全な発展

安全安心な 漁業地域づくり

- 増大する災害リスクに対応した漁港機能の強化
- ハード・ソフトが一体となった避難体制の構築
- 災害時における水産物流通機能の確保

漁村地域の 総合的な振興

- 海業振興による地域資源を活かした新産業の創出
- 地域振興を担う人づくり
- 多面的機能の発揮
- 多様な連携による地域振興

産物の安定供給、水産業の健全な発展を新たなマリンビジョンの目指す姿として位置づけています。

また、北海道水産業の情勢変化や関連施策の重点事項等を踏まえ、養殖生産拠点の形成、スマート水産業の推進、カーボンニュートラルの推進、海業振興などを新たな視点として取り入れています。

4. 地域の将来像

北海道は3つの海に囲まれており、それぞれの海域ごとに特徴があります。また、同じ海域でも浅海漁業、沿岸漁業、沖合漁業、養殖漁業など様々な漁業が営まれており、漁獲される魚種も多種多様です。

新たなマリンビジョンでは北海道内をの5つの海域に分類し、資源・環境、生産・流通・加工、地域振興の観点から、情勢変化や課題、地域の特色を踏まえた将来像を描きました。

[日本海北部地域]

- 資源・環境
漁場整備、藻場造成による資源増大と持続可能な漁業展開
- 生産・流通・加工
ホタテガイ種苗の安定供給とブランド化による多様な水産物の輸出拡大
- 地域振興
漁業・水産業と多様な連携による地域の活性化

[日本海南部地域]

- 資源・環境
再生可能エネルギーと藻場造成によるカーボンニュートラルの実現
- 生産・流通・加工
養殖生産拠点の形成による安定生産体制の構築と漁業所得の向上
- 地域振興
多様な地域資源を活かした海業振興

[エリモ以西太平洋地域]

- 資源・環境
資源管理の徹底と種苗生産・放流による安定生産体制の構築
- 生産・流通・加工
蓄養殖展開と品質・衛生管理体制構築によるブランド化推進と輸出拡大
- 地域振興
自然・文化・産業遺産と連携した交流人口の拡大

[エリモ以东太平洋地域]

- 資源・環境
資源管理と増養殖展開による生産拡大と藻場造成によるブルーカーボンへの寄与
- 生産・流通・加工
高度な品質・衛生管理体制とブランド化による輸出拡大
- 地域振興
安全・安心な漁業地域づくりと多様な体験コンテンツによる海業振興

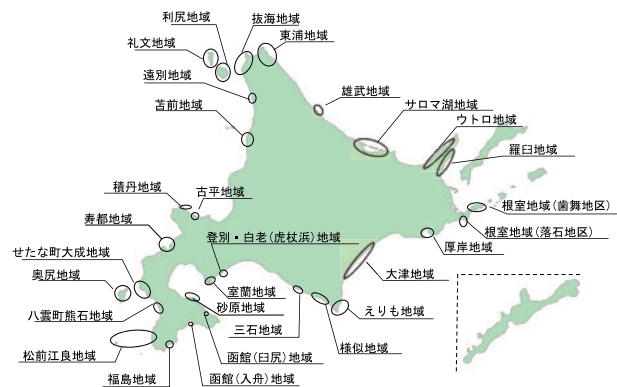
[オホーツク海地域]

- 資源・環境
環境との調和を重視したサケ・マス類、ホタテガイ、カキなどの安定生産

- 生産・流通・加工
ICT、ロボットを活用した効率的生産体制の構築と更なる輸出拡大
- 地域振興
豊かな自然環境や漁港施設を活用した多様な観光メニューの開発

5. 北海道マリンビジョンの実現に向けて

マリンビジョンの実現に向けては、漁協や市町村、商工会、観光協会、地域住民などの関係者が一体となって取組を進めることが重要となります。現在、道内30の地域において水産業を核とした地域振興方策である「地域マリンビジョン計画」が策定され、多様な主体の連携・協働により、ハード・ソフトが一体となった取組を展開し、水産業や地域の活性化に大いに寄与しています。



地域マリンビジョン策定地域

6. おわりに

北海道マリンビジョンの実現に向けては、地域マリンビジョンの活動推進母体の強化や多様な連携・協働の広がりが重要です。これまで活動が活発に行われてきた地域はより活発に、活動がうまく進んでいない地域には活動の底上げが図られるような取組が求められています。

関係者が一丸となった取組により、地域の活性化がますます進展することを願ってやみません。

※「北海道マリンビジョン」の詳細は、北海道開発局のホームページをご参照ください。

<https://www.hkd.mlit.go.jp/ky/ns/suisan/ud49g700000ny1b.html>



マリンビジョン
MARINE VISION